

「仮）うきは小麦新商品開発協議会」 説明会資料

本日の説明内容

- 本日の流れ 資料1
- うきは『小麦』活性化PT 資料2～4
- うきは小麦 資料5～6
- 協議会 資料7～10
- 申請 資料11～15
- 重要な期限・解禁日 資料16
- 今後について 資料17

事務局 : うきは『小麦』活性化プロジェクト
: うきは市

公式ロゴマーク
浮羽求真館高校3年
情報マネジメントコース
秋吉 沙友里 さんの作品

2023年 5月 9日



1. 本日の流れ

1. 事務局（予定者の一部）の紹介

- うきは『小麦』活性化プロジェクト
 - 栗木商店 栗木社長
 - みずほファーム 石井取締役
 - 元地方銀行 松尾PJ代表（本日のプレゼンター）
- うきは市
 - 農林振興課 井上係長様
 - 農林振興課 河原様

2. タイムスケジュール

- 19:00～本協議会事業の説明
- 19:40～質疑応答
- 20:00 終了予定

2. うきは『小麦』活性化PT :①原点

■ きっかけは素朴な疑問から

- ✓ 福岡県の小麦生産量は全国第2位、「うきは」はその中心
- ✓ 江戸時代中期、五庄屋時代からの伝統・歴史ある麦の産地
- ✓ 麦秋の5月には、一面小麦色の麦畑、「二毛作」ができる肥沃さ
- ✓ 「九州三大麺どころ」「スイーツの町」「有数のパティシエ比率」
- ✓ うきは発祥の「鳥越製粉」、そして工場は、昔からのシンボル
- ✓ 麺祭りは日本で最も歴史のある“そうめん流し”

身近にあるのに・・・日頃使っているのは外国産の小麦？

良いものは良い、質（安心・安全）重視の時代へ

産地が目に見える「うきは産100%の小麦粉🌾」の誕生

3. うきは『小麦』活性化PT :②-1 活動紹介(1)

- “地元の小麦”をまず知ることから・・・農業体験を行なっています
- 次世代の子供達に参加してもらい、歴史・文化・伝統を共有しています
- 次回は、**6月3日(土)の『収穫』**です！是非ご参加ください

播種（種蒔き）

- 実施時期：11月下旬～12月上旬
- トピック：**スマート農業**
- 播種方法：GPS機能を用いた自動操舵
- 体験内容：農業素人（女性含む）の播種体験

■ スマート農業実践



麦踏み

- 実施時期：2月頃
- トピック：**伝統的手法で体験**
- 参加協力：究真館高校ラグビー部
- お食事：だご汁
(うきは産食材のみ使用)

■ 伝統的な手法による麦踏み



収穫

- 実施時期：5月下旬～6月上旬
- トピック：高校生による**収穫体験**
- 参加協力：生徒、教職員様
- マスコミ：RKBほか
- お食事：冷麺、カレーパン
焼き菓子、おにぎり
(うきは産食材のみ使用)

■ 高校生との収穫体験



4. うきは『小麦』活性化PT :②-2 活動紹介(2)

■ 次世代を担う高校生と地元食材を使った地産地消の活動です

【麺部門】

2023年4月～授業の一環で商品開発

〔Aチーム 生麺のカルボナーラ 〕

〔Bチーム チーズトマトラーメン 〕

〔Cチーム レインボー麺 〕

【スイーツ部門】

2022年9月～商品開発実習 5回実施

〔第1回 うきは尽くしのフルーツクレープ 〕

〔第2回 かぼシュー&かぼちゃグラタン 〕

〔第3回 さつまいもモンブラン & 流川れんこん餅 〕

〔第4回 Xmasケーキ&クリスマス用デコレート 〕

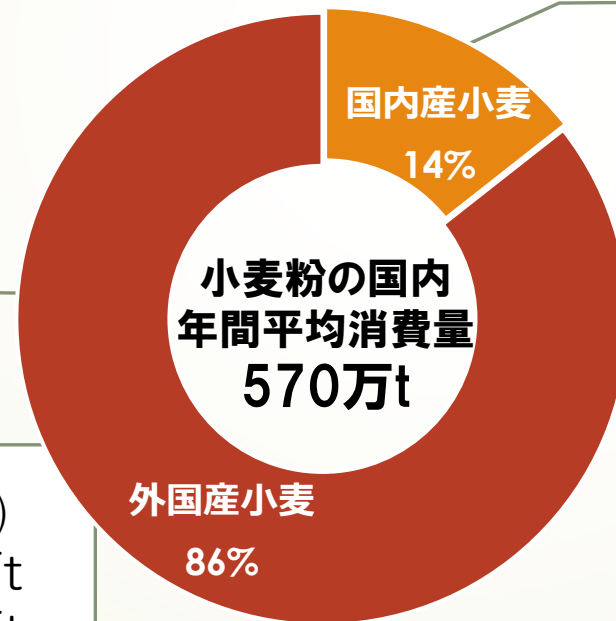
〔第5回 ブラウニー & 絞り出しクッキー 〕



5. うきは小麦 : ①小麦粉の全体感

➤ 全国的な傾向

- 国際的な穀物の供給不足の懸念、食料安全保障の重要性
 - 食料自給率向上の必要性
- ⇒ 農水省による小麦・大豆生産拡大の推奨



- 内国産小麦 82万t(14%)

1位	北海道	54.3万t
2位	福岡県	4.6万t
3位	佐賀県	2.7万t

- 外国産小麦 488万t(86%)
 - ✓ アメリカ 243万t
 - ✓ カナダ 163万t
 - ✓ オーストラリア 82万t

- うきは市ができること
 - ① 地産地消
 - ② 自給率の向上
 - ③ 安全な食の発信

6. うきは小麦 : ②うきは産の特徴など

■ うきは小麦の定義

- 旧浮羽町、旧吉井町、旧田主丸町を産地とする小麦
(JAにし様の管轄)

■ うきは小麦の品種

- ✓ 強力粉 ・ ・ ミナミノカオリ
- ✓ 中力粉 ・ ・ チクゴイズミ
- ✓ 薄力粉 ・ ・ シロガネコムギ

■ うきは小麦の特徴

- ここまで産地を限定したものは全国的にも珍しい
- 外国産特有のホストハーベスト等の農薬を使用しておらず安全
- 製粉過程で、石臼を使用、きめが細かく、風味と香りを保持

■ 産地限定の課題

- 製粉ロットの問題もあり、価格は高め
- 災害等による豊作・凶作により収穫量が左右される
- 品質面において、気候変動等による影響を受けやすい

7. 協議会 : ①組成の理由

- 国産小麦に興味がある方は多いのですが・・

これまでの大きな課題は以下の3点

- ① 国内産小麦粉そのものの価格が高い
 - ② 現に使用している材料の変更は、レシピからの見直しが要求されるため多大な時間と労力が必要
 - ③ 顧客離れ等、切替えによるリスク（後戻りできない）
- そこで！協議会を組成し新商品開発にチャレンジいただく方を資金面、横連携等でサポート。
 - 中長期的には、地域活性化(収益の実現・雇用の創出・作付面積の増加等)の可能性拡大を目指しています。

8. 協議会 : ②対象事業

➤ 麦・大豆利用拡大事業補助金交付の活用

- 所管省庁 : 農林水産省
- 事業実施団体 : 一般社団法人 全国米麦改良協会
- 利用目的 : **国内産麦・大豆の利用拡大**
(本件は、**うきは産小麦を原則**とする)
- 補助金上限額 : **協議体で 1,000万円以内**
(対象資金は、**原則自己負担なし**)
- 形式 : ボトムアップ形式 (各社申請の合計額)
- **申請者** : 地公体を含む**協議会を主体**とした団体

※1 一社) 全国米麦改良協会の採択事業となることが前提となります

※2 協議体に参加した場合、途中離脱は認められません

9. 協議会 : ③構成および目的

● 協議会名称 : (仮) うきは小麦新商品開発協議会

● 事務局構成

- うきは『小麦』活性化プロジェクト
- うきは市
- JAにし
- 上記ほか、本活動の趣旨に賛同いただける団体〔選定中〕

構成は5/31までに確定

● 協議会構成

- 事務局および以下①②の食品関連企業等
(外食・中食・食品加工業者等をいう) による構成
- ① うきは小麦の普及に協力的な企業・個人事業主
- ② うきは小麦を使った商品開発・
商品化が可能な企業・個人事業主

構成は5/31までに確定

● 協議会の目的

- うきは産小麦(原則)の普及
- うきは産小麦(原則)を使った新商品の開発、販売促進
- うきはを代表する土産物の創出

10. 協議会 : ④求められる目標・要件

■ 事業対象

✓ 国内産麦または麦加工品

■ 成果目標

✓ 本事業実施者が取り扱う麦の使用量

1. 10%以上増加

2. 100トン以上増加

1または(or)2で可

➤ 達成年度は、事業実施年度から3年後の年度

➤ 増加の対象は、国内産麦全般（本件は極力うきは産で）

➤ よって、外国産⇒国内産への変更も対象

■ 主な要件

✓ 産地と食品関連企業等の連携による新商品開発等

1. 新商品の開発等に必要なたし作、試作用原料による試作品の製造、試作品に係るパッケージの開発等

2. 試作品の試食会の開催、商談会等の出展

11. 申請 : ①必要額算出について

1. 補助対象経費は公募要領の別表1を参照ください
2. 全体の限度額が決まっていますので、各々良識ある算出をお願いします。
3. 過度の申請の場合、謝絶または減額をお願いすることがあります。

算出例

費目	事業内容		数量	事業費	
	内容			税抜	税込
ウ 試作品原料	小麦粉	薄力粉	30kg	10,200	11,016
	フルーツ	桃	〇kg	30,000	32,400
	〇〇	〇〇	〇kg	44,986	48,584
エ パッケージ	試作品に係るパッケージ費用(〇〇枚)		1,000枚	60,000	66,000
オ デザイン	表示ラベルのデザイン作成		一式	50,000	55,000
カ 必要機器等	包材費・版代			277,778	300,000
ク プロモ費	試作品のプロモーション費用			50,000	55,000
	試食会費・展示会費(個別開催予定)			120,000	132,000
				申請額	700,000

12. 申請 : ②小麦粉の取り扱いについて

【強力粉・中力・薄力粉】共通	数量単位	申請時の 価格 (税込)	解禁後の 予定価格 (税込)
<p>1. 新商品開発が確実な方</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 原材料費は立替払いとなります ➤ 計画の算定価格には右記金額で原材料費に織り込んでください 	10kg	3,672円	3,100円 前後 (調整中)
<p>2. 試作の上申請を判断される方</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 右記金額で購入いただきます ➤ 申請に移行した場合は、購入分を上記同様、織り込んでください 	1.5kg	550円	-
<p>※上記金額には送料は含まれていません ※送料の目安（事業所の場合）20kgまで750円（予定）</p>			

13. 申請 : ③書式の作成1 「①事業実施者の概要等」

- 各自作成していただくもの
- ① 事業実施者（食品関連企業等）の概要等
- ② 新商品開発等事業実施計画書
- ③ 事業内容内訳

詳しくは全国米麦改良協会HP

- 「麦・大豆利用拡大事業に係る新商品開発等事業の公募要領」
- 「麦・大豆利用拡大事業に係る新商品開発等事業実施要領」（様式集）を参照ください

別記様式第2号 別添2				
事業実施者（食品関連企業等）の概要等				
1. 事業実施者（食品関連企業等）の概要				
事業実施者（企業等名）				
代表者氏名（役職） 担当者氏名 所属部署 住所 電話番号 FAX番号 メールアドレス	〒			
事業実施者（食品関連企業等）の事業概要				
注：企業等の略歴、パンフレット等を添付する。				
2. 実施体制				
※経理担当者を含む事業担当者・開発担当者の経験、能力、配置計画など				
3. 事業の一部委託				
委託先の名称	住所・連絡先	委託する事業の内容	委託の必要性	金額
4. 協力機関等				
協力機関等の名称	住所・連絡先	協力して実施する事業・取組の内容		
注： 協力機関がある場合、記載すること。				

14. 申請 : ④書式の作成2 「②新商品開発等事業実施計画書」

別記様式第2号 別添1

新商品開発等事業実施計画書

1 事業計画概要

(1) 本事業の対象となる麦・大豆

1 二条大麦 ()	2 六条大麦 ()	3 はだか麦 ()
4 小麦 ○ ()	5 大豆 ()	

注：本事業の対象となる種類を選び、円で囲むこと。
また、具体的な銘柄を括弧内に記載すること。

(2) 本事業により取組む新商品の開発等

ア 事業内容の件数

① 産地と食品関連企業等との連携による新商品の開発等に必要な検討・試作品の開発	件
② 産地と食品関連企業等との連携による新商品の製造等に必要な機器の開発・改良等	件
③ 試作品のプロモーション	件

イ 新商品の開発等に必要な検討・試作品の開発

(例)

- 1 麦・大豆の切替に当たり、検討会・市場動向調査を実施
- 2 原料を切替えて〇〇を製造
- 3 開発した試作品の成分を分析
- 4 開発した新商品の原料原産地表示ラベル・包装容器のデザイン作成
- 5 …

ウ 新商品の製造等に必要な機器の開発・改良等

(例)

- 1 □□□を製造するために必要な〇〇〇機械について開発・改良を行い、導入する。
- 2 本事業により開発した新商品の原料原産地表示に必要な機器のリース

3 …
※導入する新商品の製造に必要な機器について、開発・改良する部分を具体的に記述、図解する。

エ 本事業により開発した試作品のプロモーション

- 1 本事業で開発した試作品をPRするためのパンフレットの作成。
- 2 開発した試作品の試食会を開催。
- 3 開発した試作品の商談会等に出席。
- 4 …

注：イからエまでの欄には、複数の取組が見込まれる場合には、それぞれに対応した番号を付し、全て列記すること。

(3) 成果目標

成果目標の具体的な内容	計画時 (令和5年度)	目標値 (令和8年度)
(例) 当社が取り扱う麦・大豆の使用量を10%増加	○ t	△ t

注：成果目標の目標年度は、事業実施年度の3年後とする。
成果目標は、食品関連企業等が取り扱う麦・大豆の使用量10%以上の増加又は食品関連企業等が取り扱う麦の使用量を100トン以上の増加並びに大豆の使用量を10トン以上とする。
なお、既存商品に係る麦・大豆の使用量及び麦・大豆を用いた商品の生産額が減るものでないこと。

15. 申請 : ⑤書式の作成3 「③事業内容内訳」

1. 各社毎に内訳を記載下さい
2. 事業内容内訳ア〜クから該当費用を申請
3. 各社の分を取り纏めて、協議会として申請します (カ・キは設備なので除く)

2 事業内容内訳

(1) 産地と食品関連企業等との連携による新商品の開発等

ア 新商品の開発等のための検討会の開催

事業内容	事業費	負担区分		備考
		国費補助金	その他 (自己負担)	
	円	円	円	
計				

イ 新商品の開発等のための市場動向調査の実施

調査対象者名	事業内容	事業費	負担区分		備考
			国費補助金	その他 (自己負担)	
		円	円	円	
計					

ウ 新商品開発のための試作用原料の調達及び成分分析

事業内容	事業費	負担区分		備考
		国費補助金	その他 (自己負担)	
	円	円	円	
計				

エ 新商品の開発に必要な試作品の製造、試作品に係るパッケージの開発等

事業内容	事業費	負担区分		備考
		国費補助金	その他 (自己負担)	
	円	円	円	
計				

オ 包装容器のデザイン作成、原料原産地表示ラベルのデザイン作成

事業内容	事業費	負担区分		備考
		国費補助金	その他 (自己負担)	
	円	円	円	
計				

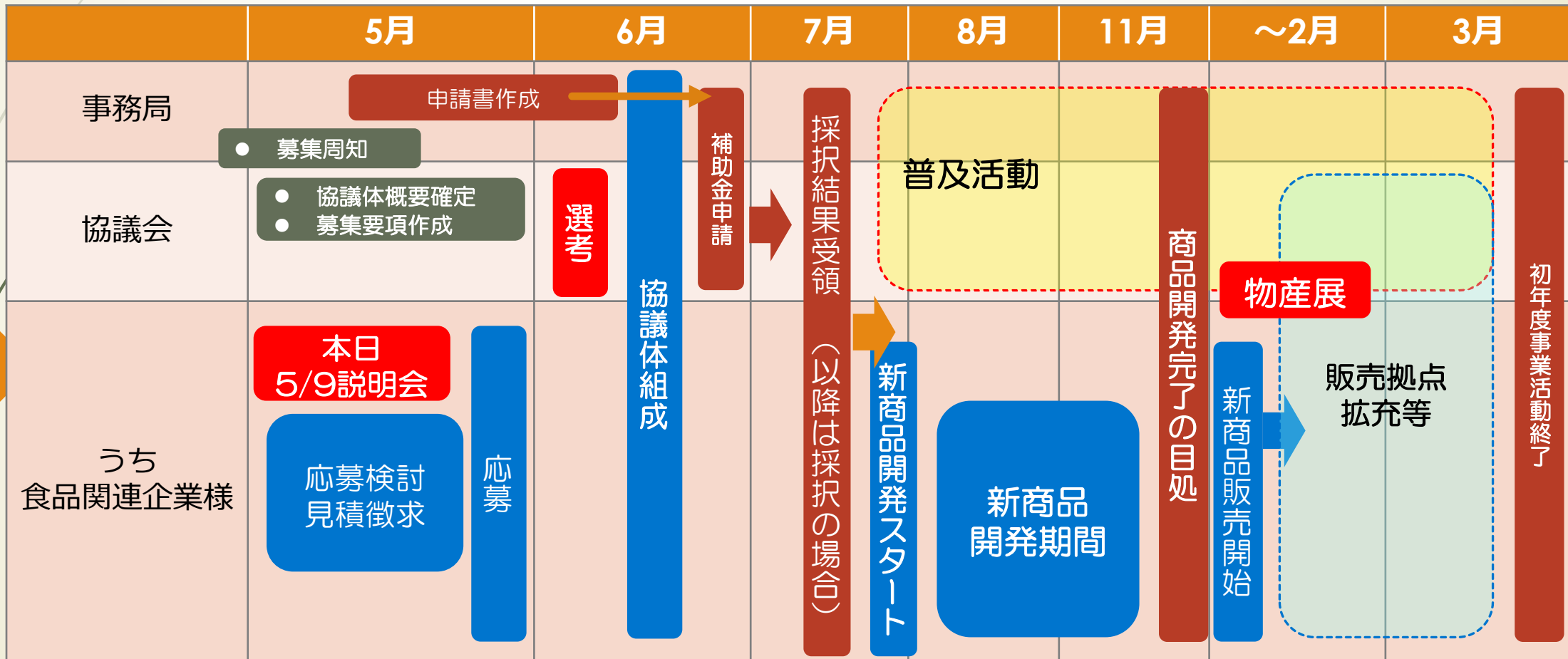
カ 新商品の開発に必要な機器の開発・改良等

事業内容	事業費	負担区分		備考
		国費補助金	その他 (自己負担)	
	円	円	円	
計				

カ・キは設備なので除く

16. 重要な期限・解禁日

- 応募書類提出
 - 開発の開始日
 - 販売の開始日
- • 【期限】 5月31日（水）
 - • 【解禁】 事業採択以降（7月中旬予定）
 - • 【解禁】 終了報告以降（協議会で決定）



17. 今後について

- 質問等についてのご紹介先
 1. 事務局 栗木商店 0943-75-2153
 2. HP ukihakomugipt@gmail.com
 - 本事業においては専任担当者がいないこと、また照会内容によっては協会宛確認した後、ご回答する場合がありますため、余裕を持ってご照会ください。
- 採択結果、および事務局・協議会の組織構成については、詳細確定後、6月中旬頃ご案内いたします。
- 組成後の連絡、情報共有についてはグループラインを作成する予定です。

18. 【参考】うきは『小麦』活性化プロジェクトの活動サマリー

■ 2021年9月立ち上げ。産地限定の小麦粉誕生、次の商品開発ステージへ

